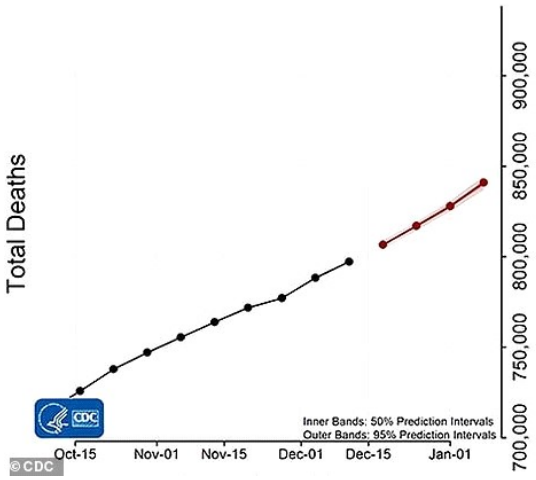
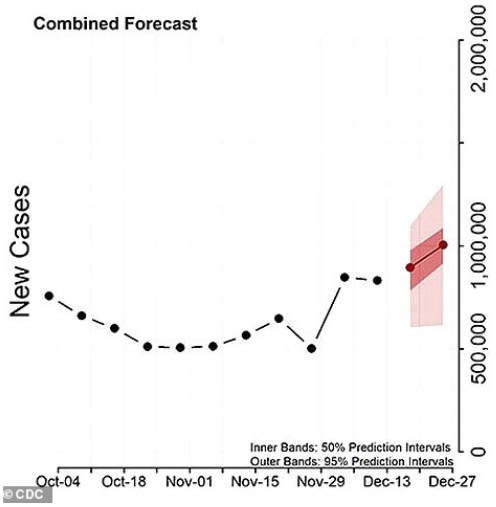
https://www.dailymail.co.uk/health/article-10314687/CDC-issues-grim-forecast-warning-weekly-COVID-cases-jump-55-1-3-MILLION-Christmas-Day.html

CDCは、「 Omicron」が主流となることで、クリスマスまでに「 COVID」の感染者数が週に55%増加して130万人に達し、死亡者数も73%増加して週に15,600人に達するとの厳しい予測を発表。

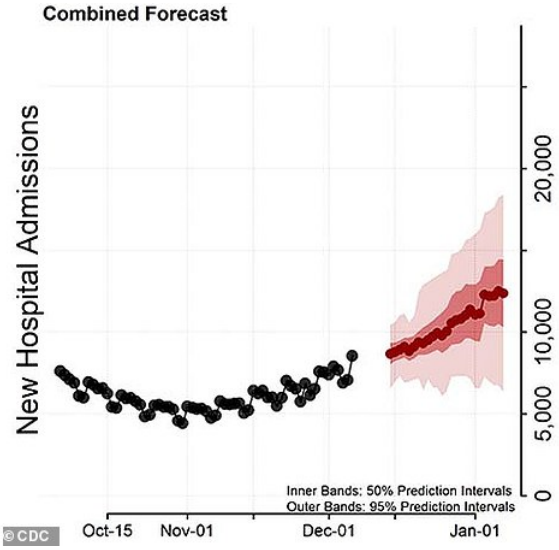
- CDCは、クリスマスの週に130万人ものCOVID-19の新規感染者が発生し、1月初旬までにCovidによる死亡者数が73%増加すると警告しています。
- オミクロンCOVID-19の変異体は、全米に広がり続けているため、ワシントンD.C.を含む米国の37州で241回のシーケンスが行われている
- CDCが火曜日に発表したところによると、先週に比べて7倍に増加しており、NYとNJでは症例の13%にこの変種が関与していると考えられていますが、配列された症例の3%にこの変種が含まれています。
- 英国では木曜日に1日の患者数が過去最大の78,610人を記録し、そのうち10,000人がオミクロンと確認されました。
- 米国では、ニューヨーク州イサカのコーネル大学で、過去1週間に発生した930人の患者のほとんどがオミクロン変異体であると考えられていますが、これまでに発生した最大のアウトブレイクの1つとなっています。
- コーネル大学で確認されたオミクロンの症例はすべて、完全にワクチンを接種した人の中にあり、そのうちのいくつかはブースターも受けた人の中にあります。
- 米国では、過去2週間で患者数が46%増加し、死亡者数は40%増加しています。今週初めには、総死亡者数が80万人、総患者数が5,000万人を突破しました。
- 英国では、ウイルスによる死亡者数は過去2週間で減少したものの、感染者数は増加し続けている
- 南アフリカで行われた最近の研究では、オミクロンは他のウイルスの亜種よりも早く拡散するが、入院する可能性は20%低いことが判明した

by MansurShaheenU.S. Deputy Health EditorForDailymail.Com
公開日：2021年12月15日 22:45 GMT｜更新日時：2008年12月17日 16:16 GMT16:16 GMT, 17 December 2021





CDCの予測では、1月8日までの1週間に、最大15,600人の米国人が新たにコビッドに感染し、130万人が死亡する
クリスマスの週に記録されたコビッド感染者数



CDC の予測では、最大 18,400 人が
1 月 7 日までの 1 週間に入院した方

米国疾病予防管理センター（CDC）が発表した新たな数字によると、米国のCOVID-19による死亡者数は1月8日までに73％増の週1万5,600人に達し、クリスマスまでに患者数が週130万人に達すると予測されている。

同局が水曜日の午後に発表した予測によると、1月8日現在、アメリカでは週に最大15,600人のコビットによる死者が発生しており、これは1日あたり2,228人の死者に相当し、現在記録されている週の死者数8,900人（1日あたり1,285人）から58％増加します。

CDCの別の予測では、12月25日のクリスマスまでの1週間に、62万人から130万人のアメリカ人がCovidと診断されるとしています。

これは、過去1週間に記録された84万件と比較して55％の飛躍となります。

ある専門家は、「オミクロン」が今後数週間のうちにCovidの主流株となり、クリスマス直後に患者が急増する可能性が高いと警告しており、CDCが予測している急増に拍車をかける可能性があります。

メイヨー・クリニックのトップ疫学者であるグレゴリー・ポーランド博士がDailyMail.comに語ったところによると、オミクロン・フュージョンによる患者の急増はすぐそこまで来ている可能性があるとのことです。

私たちの誰もがモデルにできるように、休暇明けの1月初旬から中旬にかけて、爆発的に症例が増えるでしょう」と述べています。

「この亜種は超伝染性で、寒冷な気候、大規模な休日の集まり、マスクなし、不十分な予防接種などの環境で指数関数的に広がります。

水曜日に78,610件の患者数を記録した英国では、今後数日のうちにこのウイルスが主流となり、その2週間後には米国でも流行するだろうと考えています。

ニューヨーク州北部にあるコーネル大学は、ここ数日で930人の学生がウイルスに感染したことから、米国初のオミクロンクラスターが発生したと疑われています。コーネル大学によると、これまでに配列を決定した陽性反応のすべてがオミクロン・バリアントであったとのことです。

コーネル大学の広報担当者は、オミクロンの症例数を正確には述べていませんが、930件の症例のすべてではないにしても、ほとんどが新しい亜種によるものであると予想していると付け加えています。

ポーランドでは、コーネル大学の例を挙げて、ワクチン接種率が 97%以上の同大学で、数日のうちに 900 人以上の患者が発生したことから、新型インフルエンザがいかに急速に広がるか、また、ワクチンを十分に接種していても、新たに発見された新型インフルエンザのリスクがあることを指摘しています。

これはハイパートランスミッシブルです」とポーランド博士は言う。

「私は以前に感染していたとか、ワクチンを 2 回接種したから大丈夫だろうと、人々は自分を満足させてきましたが、彼らは大きな驚きを味わっています。

「ブーストされていなければ、以前に感染していようが、2 回接種していようが、感染しやすいのです。そしてさらに重要なことは、重症から中等症の病気にかかりやすいということです』。

南アフリカやヨーロッパからの初期の報告では、このウイルスはより軽度であると考えられていますが、それでも何人かの人は死ぬでしょう。

ポーランドは DailyMail.com に対し、この変種が米国内で急速に広がっているため、国内の遺伝子配列解析のインフラが追いついていないのではないかと述べています』。

「私たちはシーケンシングをほとんど行っていないので、ローカルレベルでのオミクロンの疫学については、本当によくわかっていません」と彼は言います。

メイヨー・クリニックのトップ疫学者であるグレゴリー・ポーランド博士（写真）は、アメリカではオミクロン・バリアントが原因で、休日明けにコビットが急増すると警告しています。また、同博士は、この亜種が「やがて」アメリカの主流となるだろうと考えています。

国内では症例を配列する能力が相対的に低いため、アメリカで確認された 1 件に対して、オミクロンの実際の症例が 100 件ある可能性があるという。

また、すでにウイルスに感染している人に使用されるモノクローナル抗体カクテルのような他のコビット治療法は、新しい株には効果がないのではないかという懸念もあります。また、初期のデータでは、ジョンソン・エンド・ジョンソン社のワンショット・ワクチンは、この変異株には効果がないかもしれません。

一方、英国では、水曜日にオミクロン・ケースの確認数が 10,000 件を超え、前日の約 2 倍となりました。英国では、水曜日に過去最高となる 78,610 件のコヴィド症例が記録されており、今後数週間でオミクロンの急増が繰り返し記録を更新する可能性があると警告されています。

ボリス・ジョンソン首相は、国民を守るために各国のブースターショットの展開を加速させました。ボリス・ジョンソン首相は、国民を守るために、各国でのブースター注射を強化しています。

ヨーロッパの他の地域では、デンマークとノルウェーが引き続き Covid の流行に悩まされています。両国とも、今週、Covid の新記録を樹立し、1,000 件以上の新種の患者の配列を決定しました。

欧州連合（EU）の関係者も、1 月中旬にはこの亜種が大陸の主流となる可能性があると警鐘を鳴らしています。

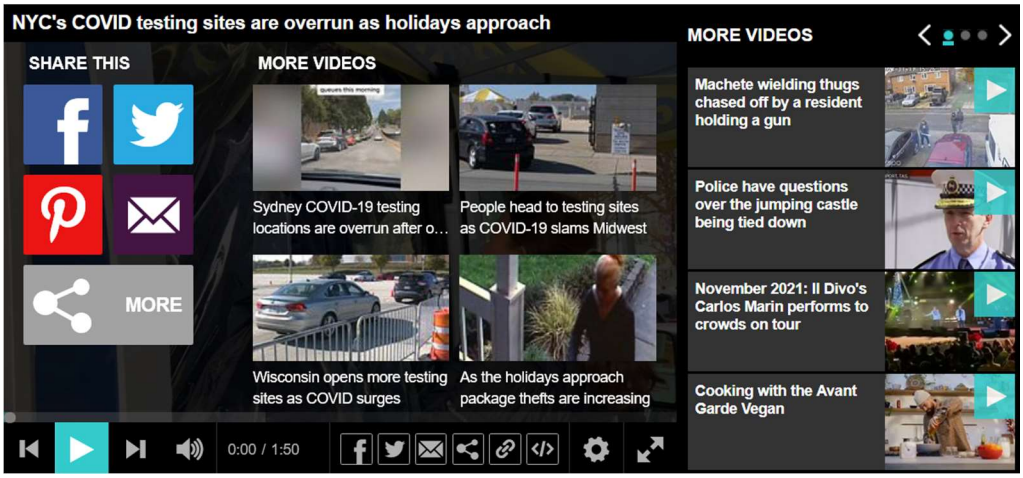
オミクロン COVID-19 変異体（紫）は、先週の 1%未満から増加し、米国のコビット症例の 3%を占めるようになりました。CDC のデータによると、デルタ型（オレンジ）は依然として米国の主要な株であり、新規感染者の 97%を占めている

また、すでにウイルスに感染している人に使用されるモノクローナル抗体カクテルのような他のコビット治療法は、新しい株には効果がないのではないかという懸念もあります。また、初期のデータでは、ジョンソン・エンド・ジョンソン社のワンショット・ワクチンは、この変異株には効果がないかもしれません。

CDC の発表によると、米国におけるオミクロンの感染者数は、この 1 週間で 7 倍に急増しており、COVID の新種の感染が確認された州のデータは、この 24 時間で 189 人から 241 人へと 27%も急増しています。

火曜日に CDC が発表したところによると、オミクロンはコビットの全症例の 2.9%を占めていると推定され、1 週間前の 0.4%から増加しています。

一方、CDC 所長のロッシェル・ワレンスキー博士によると、ニューヨークとニュージャージーにおける新規感染者のうち、オミクロンは最大で 13%を占めており、現在ではワシントン DC を含む 36 の州でこの変種が確認されているとのことです。



専門家は最近、オミクロンの「高波」が米国に向かっていると警告しており、英国では水曜日に 1 日の診断件数が最大の 78,610 件を記録し、そのうち 10,000 件が新種であったことから、米国人は今後の展開を予感しているようです。

BNO が収集した最新のデータによると、全国の地域保健局からのデータを集計した結果、新型インフルエンザの患者数は 241 人に急増し、水曜日から 52 人増加しました。

全体として、米国での感染者数は増え続けており、過去 2 週間で 46%増加し、1 日あたり 121,687 人となっています。また、毎日 67,000 人以上がウイルスに感染して病院に入院しており、過去 2 週間で 22%増加しています。死亡者数も 40%増の 1 日あたり 1,300 人に近づいています。

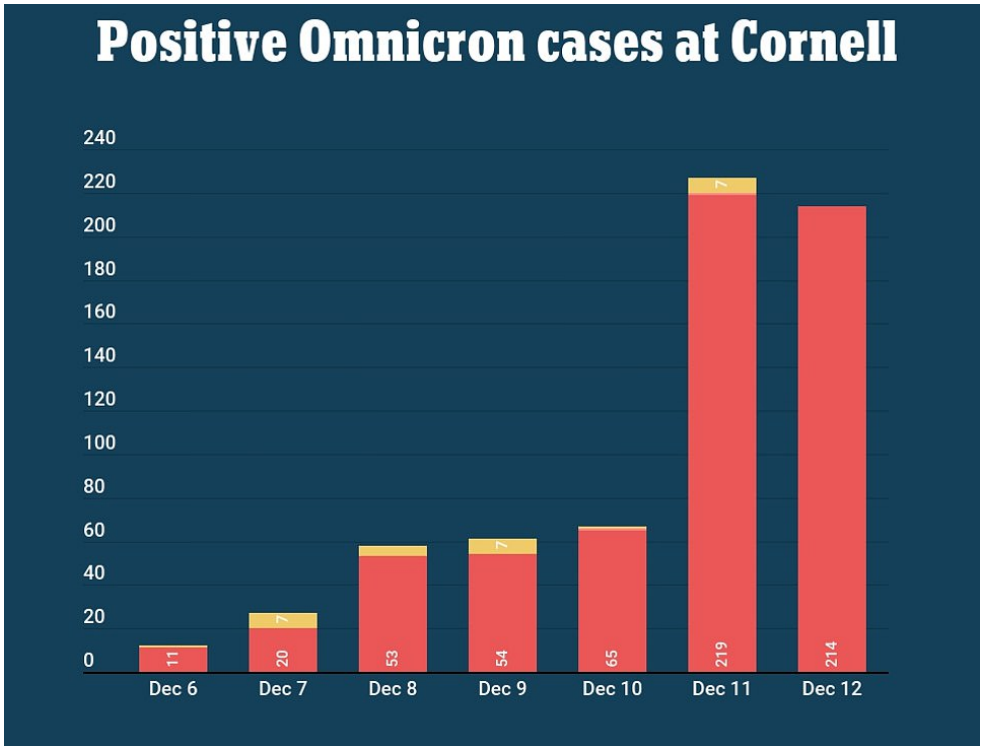
水曜日の午前 11 時現在、ジョンズ・ホプキンス社の報告によると、2020 年 3 月にパンデミックが初めて発生して以来、米国では 50,251,149 人のコヴィド患者と 800,867 人の死亡者が記録されています。

ニューヨーク州イサカにあるコーネル大学で、これまでに発生した最大規模のオミクロン・アウトブレイクの一つが発生しました。コーネル大学では、ここ数日の間に 930 件の Covid 症例が報告されており、そのうちのほとんどすべての症例が新しい亜種であることが判明しています。コーネル大学では、診断された症例のうち何人がオミクロンであるかを正確に述べることを拒否していますが、米国当局は一般的に PCR 検査の 5 件に 1 件の割合で塩基配列を決定し、その人がどのコビットの変種に感染しているかを判断しています。

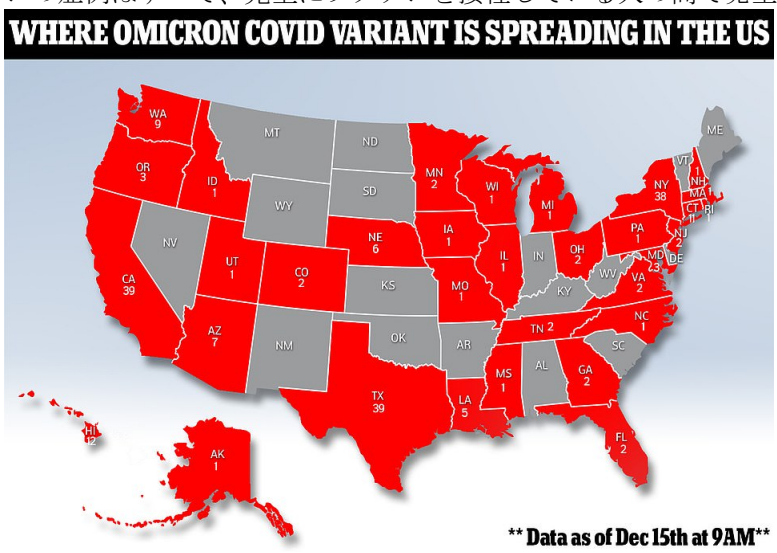
また、学校関係者によると、これまでに確認されたオミクロンの症例（確定数はまだ発表されていない）はすべて、完全にワクチンを接種した生徒であり、一部の生徒はブーストも受けているとのことです。この結果、同校はキャンパスを閉鎖し、秋学期の期末試験はバーチャルで行われることになりました。

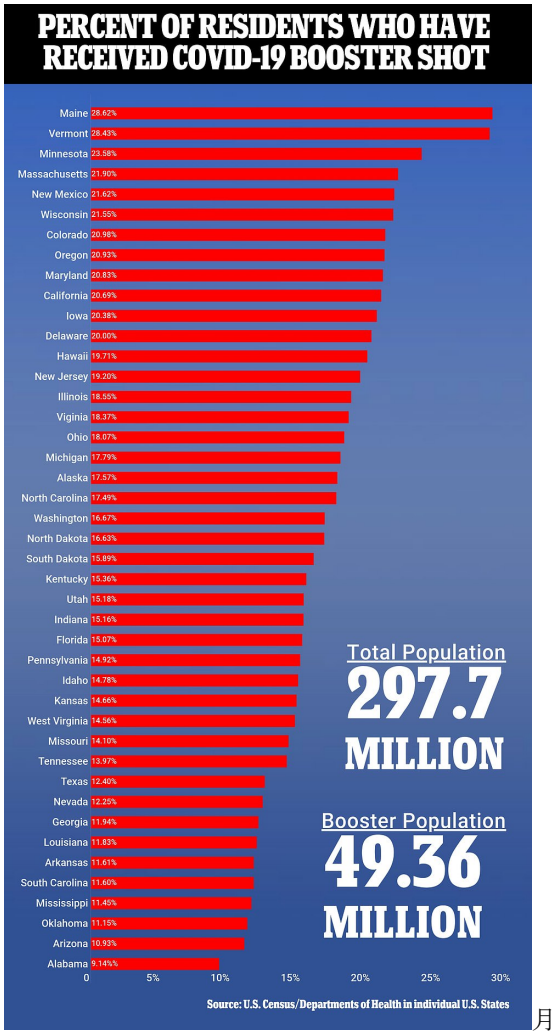
専門家は、ワクチンを完全に接種している人は、新型インフルエンザからの感染をほとんど防ぐことができないと考えていますが、予備的なデータによると、ワクチンは依然として重篤な病気を防ぐことができるようです。初期のデータでは、オミクロンからの感染の可能性を低くするためには、ブースター注射が必要であることが示されており、ファイザー社のブースターでは、感染のリスクを約 70%削減することができました。

しかし、CDC のデータによると、アメリカ人の 16.5%、つまり完全にワクチンを接種した人の 4 分の 1 以下しか追加接種を受けておらず、何億人もの人々が事実上、このウイルスに対する保護を受けていないことになります。



ニューヨーク州イサカにあるコーネル大学では、米国で初めてとなる COVID-19 の大規模な流行が発生しています。この 1 週間で 900 人以上の学生と職員にウイルスの陽性反応が出ており、当局の報告によると、調査されたほとんどすべての症例にオミクロン変異型の指標が認められています。学校側の報告によると、オミクロンの症例はすべて、完全にワクチンを接種している人の間で発生しているとのことです。写真はこちら





月曜日の時点で、アメリカ人の 16%しか受信していませんでした。COVID-19 ブースターを接種した人口が 30%を超えた州はありませんでした。

J&J Covid ワクチンは Omicron に対する最小限の防御しかできない。

南アフリカの研究によると、ワンショット・ワクチンを受けた人は、オミクロン・バリアントに対する抗体レベルが検出されず、実質的に防御力がゼロであることがわかりました。

主任研究者の Penny Moore 氏は、「オミクロンは確かに抗体からの免疫逃避を示しますが、J&J ワクチンの場合はさらに憂慮すべき状況だと思います--私たちのアッセイでは検出可能な中和はありませんでした」と述べています。

今回の調査では、ファイザー社が提供する防御力はかなり高いが、それでも以前の Covid 社の株に対する防御力よりは劇的に低いことが分かった。

今回の研究では、ワクチンが感染を防ぐことができない可能性があることが示されましたが、コビットによる入院や死亡を防ぐ効果は検証されていないため、ワクチンはまだ何らかの効果をもたらす可能性があります。

研究者たちは、J&J 社のワクチンを接種した人には、新しい株から守るために、できるだけ早く追加接種を受けるようアドバイスしています。

コーネル大学は、アメリカで最初のオミクロンの大発生の場となりそうだ。

同校の Covid ダッシュボードによると、12 月 7 日以降、930 件の Covid 陽性反応が記録されており、そのうち 883 件は学生によるものでした。

学内の学生、教職員の 97%が完全にワクチンを接種しているにもかかわらず、このような事態が発生しています。

コーネル社では、これらの陽性サンプルを多数収集し、その監視プログラムにより、ほぼすべてのサンプルにオミクロン・バリアントの指標が検出されました。

この新種のウイルスは、先月、南アフリカ当局によって初めて検出され、予備的なデータでは、感染力が強く、ワクチンによる保護を回避する能力があることがわかっています。

スパイクタンパク質の 30 個を含む 50 個の変異があり、これまでで最も変異の多い Covid 株です。

今週初めに行われたイスラエルの研究では、基本的なワクチンシリーズのみを接種した人、つまり通常は完全に接種したとみなされる人でも、新しい亜種に感染する可能性があることがわかりました。

同じ研究では、ブースターショットを受ければ、保護機能が再び確立されることがわかっています。
しかし、今週、南アフリカで有望な研究が発表されました。

米国最大の医療保険会社であるディスカバリー・ヘルス社が実施した調査によると、このウイルスは従来のウイルス株よりもはるかに速く拡散し、米国で最も普及しているファイザー社のコビット・ワクチンによる防御を回避できることがわかりました。

研究者らは、この菌株の影響は比較的軽微であり、入院や死亡を引き起こす可能性は低いことを明らかにしました。オミクロンに感染した人が入院する可能性は、デルタ型に感染した場合に比べて 20%低いことがわかったのです。

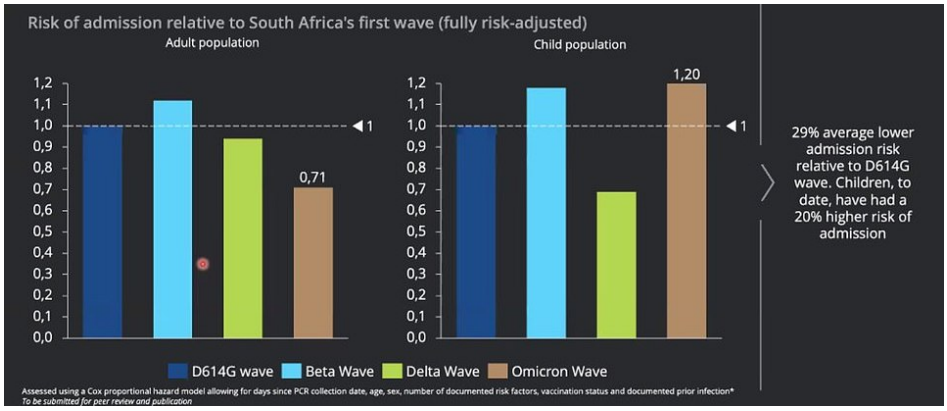
イングランドのチーフメディカルオフィサーであるクリス・ウィッティ教授は、南アフリカのデータは英国には当てはまらないかもしれないと警告しています。なぜなら、南アフリカは他の国ほどデルタの影響を受けなかったからです。

南アフリカの医師や科学者たちが、オミクロンによって入院率が減少する可能性があると指摘したことについて、一定のコメントがなされていると思います。しかし、私はこれが過大に解釈されていると思うので、本当に重大な注意を払いたいと思います。

「今回の波は、前回のデルタ波やワクチン接種による免疫力がはるかに高く、そのため今回の入院率が低いのは当然のことです。

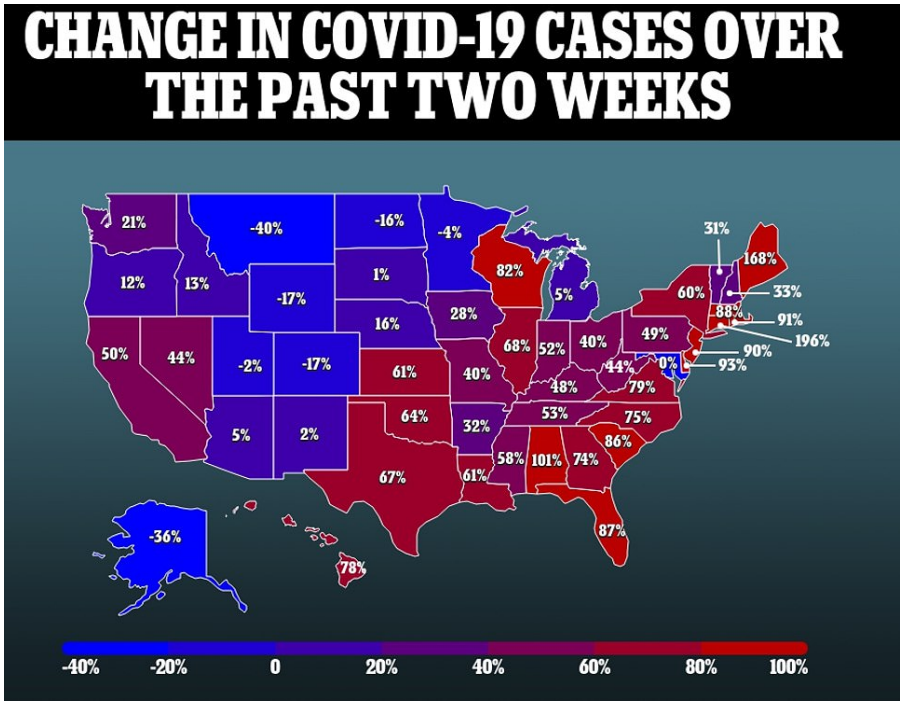
「だからといって、ある程度軽い病気があるというわけではありません。その可能性はありますが、人々がこれを過大に解釈して、これは問題ではない、心配する必要はないと言ってしまう危険性があると思います。はっきり言っておきますが、私はこれが問題になるのではないかと思っています」。

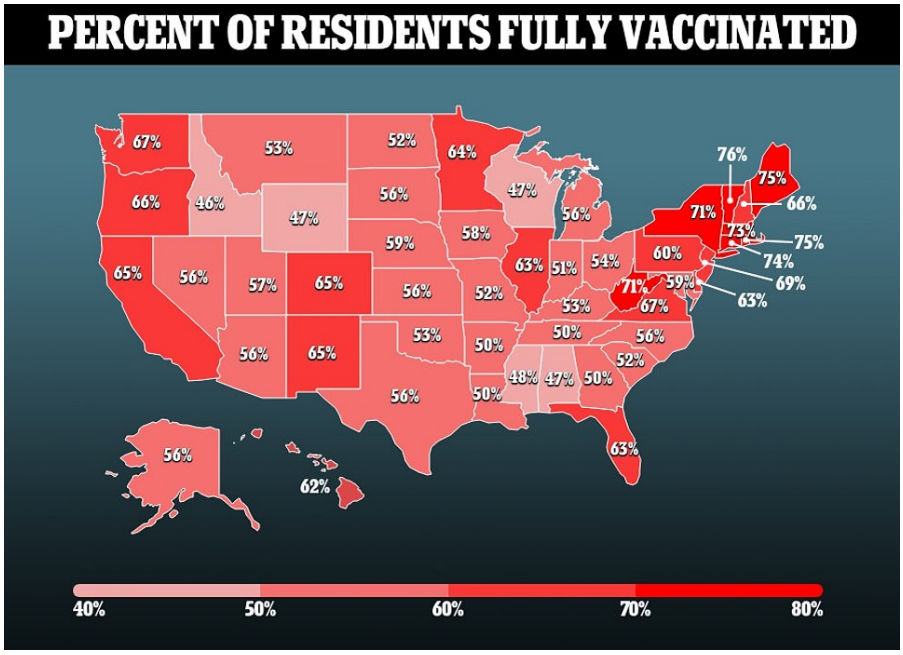
また、米国では、特に北東部のいくつかの州が感謝祭後のコヴィド波に襲われ、患者や死亡者が急増し始めています。

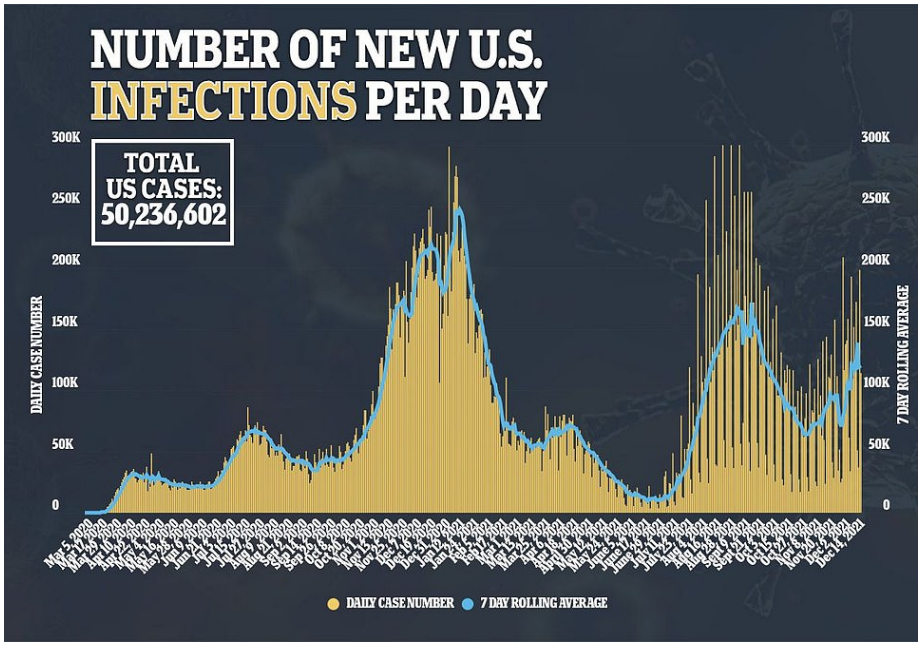


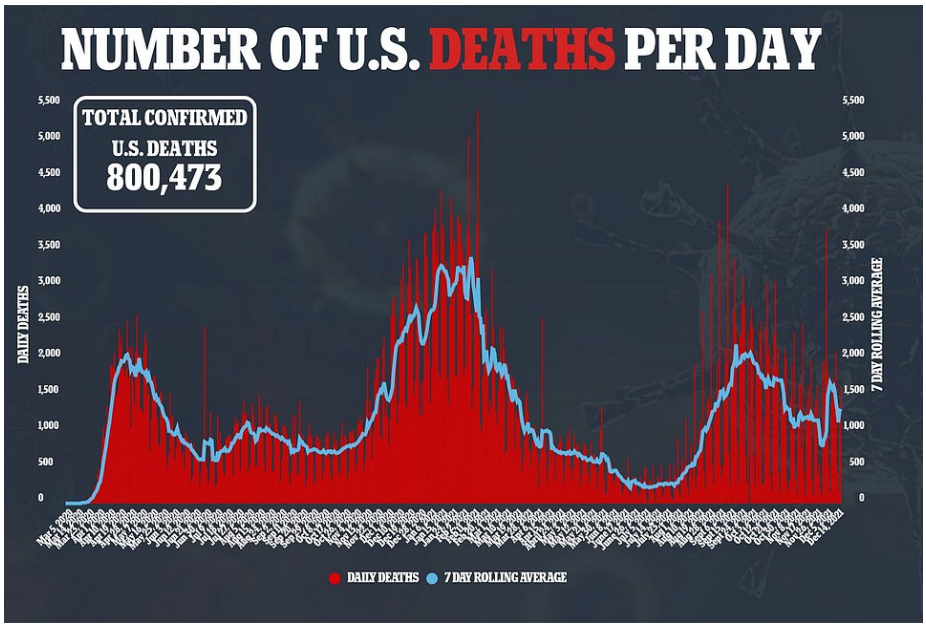
過去 1 カ月間に発生した 7 万 8,000 件のオミクロンの症例を調べたところ、入院のリスクはデルタ（緑）に比べて 5 分の 1、オリジナルウイルス（紺）に比べて 29%も低いことがわかった。オミクロンは茶色、南アフリカ

のオリジナルウイルス「ベータ」は水色で示されている。子どもたちは、まだ数が少ないにもかかわらず、最初の流行時に比べて、新しい波の中で合併症による入院のリスクが 20%高くなったようです。









コネチカット州では、この 2 週間で感染者数が約 3 倍に増加し、最悪の事態となっています。同州の住民 10 万人に 1 人の割合で、毎日約 71 人がウイルスの陽性反応を示しています。

近隣のメイン州（過去 2 週間で 168％の件数増加）、デラウェア州（93％）、ロードアイランド州（91％）、ニュージャージー州（90％）、マサチューセッツ州（88％）も上位に入っています。

また、アラバマ州では、この 2 週間で新規感染者数が 2 倍に増加しており、この冬の流行が南部にも波及していることを示しています。

しかし、これらの新しい症例の大部分は、依然としてデルタ型であり、2021 年後半の大半を占めていたこの菌株が、米国で配列された症例の 97％を占めています。

最近の急増にもかかわらず、米国の最高の感染症専門家であるアンソニー・ファウチ博士は、水曜日のニュースブリーフィングで、オミクロンスペシャルブースターはまだ必要ではないと述べました。

「私たちのブースター・ワクチン・レジメンは、オミクロンに対して効果があります。現時点では、バリアントに特化したブースターは必要ありません」とファウチ氏は言う。

しかし、3 回目の投与から 2 週間後を見ると、中和タイトルがかなりの程度上昇しており、オミクロンを中和する範囲に入っていることに注意してください」。
ホワイトハウスのカリーヌ・ジャンピエール副報道官は、全国的にこのような事態が発生しているにもかかわらず、学校は対面式の学習のために開校し、子どもたちやスタッフの安全を守るために必要なリソースを確保すべきだと述べています。

イギリスでは、水曜日の朝の時点で 10,017 人の患者が確認されており、最近の患者数の増加に多くの人が不安を感じています。

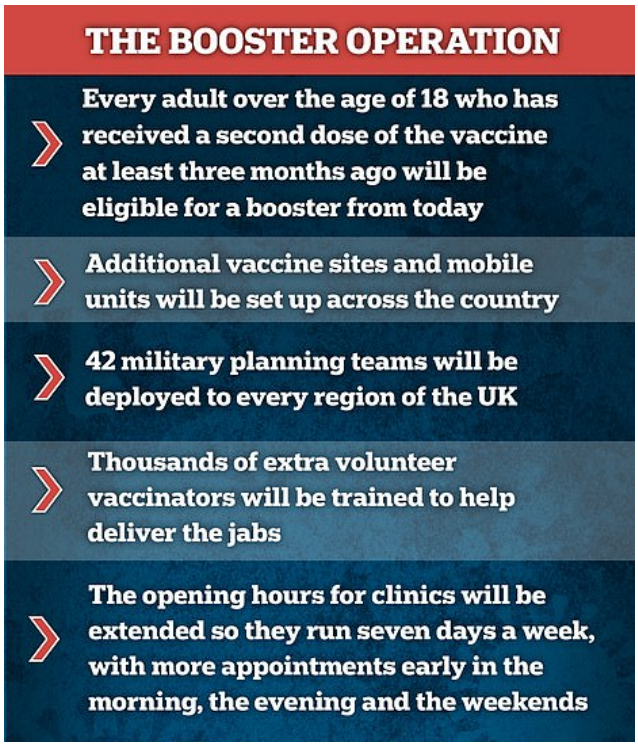
国内の患者数も急増し始めており、1 日あたり 59,610 人の患者数を記録しており、過去 2 週間で 30%の増加となっています。

水曜日には、全国で記録されたコビットの陽性反応が 78,160 件となり、新記録を達成しました。

しかし、実際には死亡者数は減少しており、1 日あたりの平均死亡者数は 150 人で、2 週間前に記録された 1 日あたりの 180 人から 6.5%減少しています。

しかし、死亡数は症例数に比べて遅れていることが多いため、死亡数の急増も考えられます。

ジョンソン首相は先週、感染者の急増を抑えるために、マスク着用や在宅勤務などの厳しい対策を実施しました。また、一部のイベントや会場では、入場の際にワクチンの接種証明書または最近の検査で陰性だったことの証明書が必要になりました。



また、軍や何千人ものボランティアの力を借りて、Covid ブースターの普及を加速させ、ブースターの需要に合わせて全国の診療所の営業時間を延長しました。

しかし、それだけでは十分ではなく、このままサージが悪化すれば、2022 年にはロックダウンが行われる可能性があると危惧する声もあります。

デンマークでは、オミクロン COVID-19 の症例数が全世界で 2 番目に多く、水曜日の朝の時点で 6,047 件の配列が決定されており、昨日から 2,000 件の増加となっています。

世界最大級のオミクロン・アウトブレイクは、11 月 27 日に地元の 2 つの高校から 150 人の生徒が参加した Viborg 地域のクリスマス・ランチ・イベントと関連しています。

これまでに約 70 件のバリアントがこのイベントと結びついています。

イギリスに続き、日本でも新型インフルエンザの感染拡大を防ぐため、優先的に予防接種を実施しています。
月曜日からは、40 歳以上のデンマーク人全員にブースターショットが提供されます。これは、予防注射の展開において、まず最も弱い立場にある市民を保護することを期待してのことです。

メッテ・フレデリクセン首相は、先週、英国に続き、ウイルスの拡散を防ぐための新たな対策を発表しました。

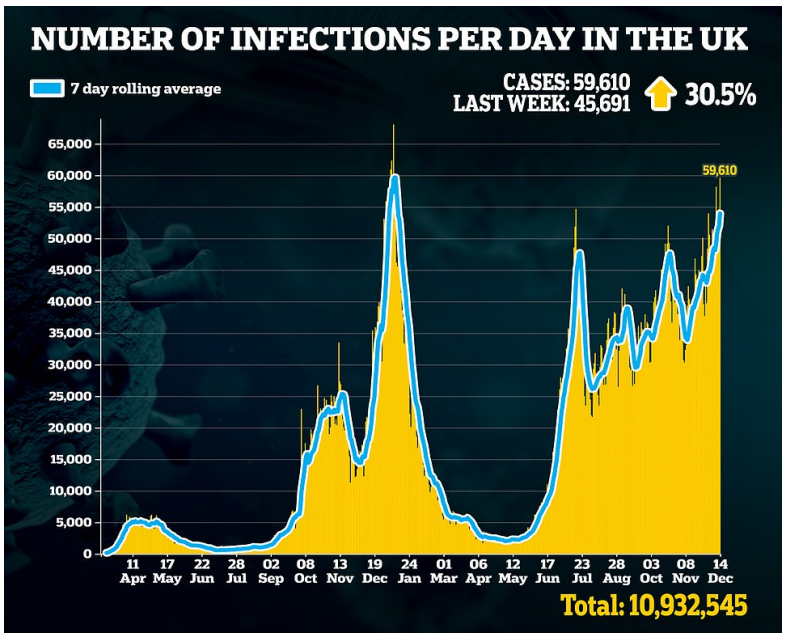
これからは、できる人は在宅勤務を命じられ、バーチャルスクールも拡大されました。

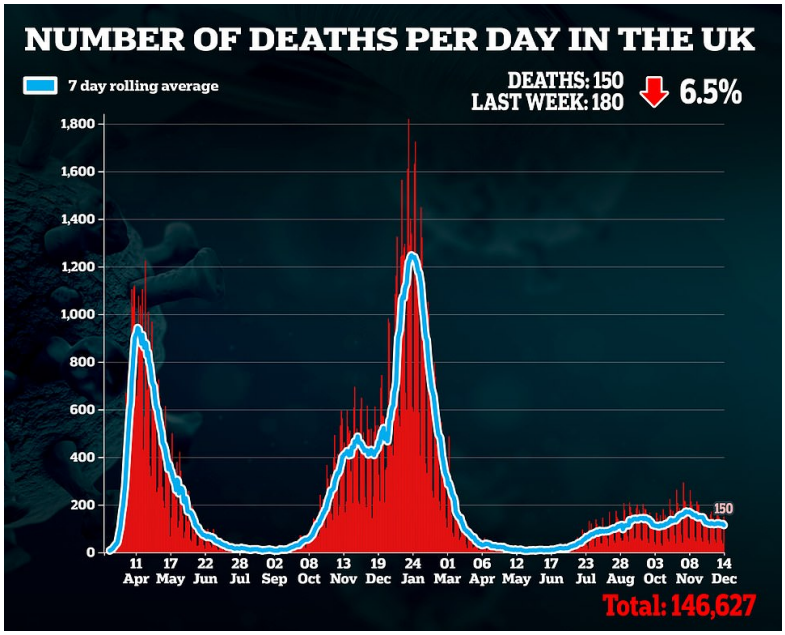
バーやナイトクラブも営業時間が短縮され、送信防止のために深夜 0 時に閉店せざるを得なくなります。

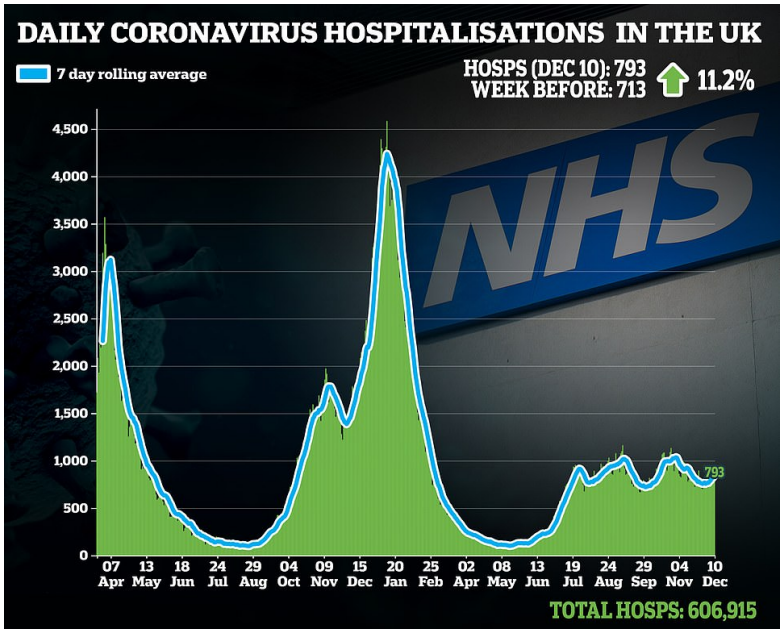
しかし、保健当局は、このウイルスがヨーロッパ諸国で拡大し続けるのではないかと懸念しており、同国の保健当局は月曜日、首都であり最大の都市であるコペンハーゲンでは、週明けには「オミクロン」が主流になるだろうと述べた。

北欧諸国では現在、1 日あたり 6,846 人の新規患者が発生しており、これは昨冬に記録した過去の記録の約 2 倍にあたります。

イスラエルは自国内での同様の発生を恐れ、月曜日に英国とデンマークからの渡航を制限し、ヨーロッパの 2 つの国に加えて約 50 の国がリストアップされました。







オミクロン・バリアントの影響で、イギリスとデンマークからの渡航を禁止した最初の国です。

一方、米国では、バイデン大統領がアフリカ 8 カ国からの渡航を禁止しました。アフリカ 8 カ国の中には、現在、コヴィドの大きな流行がない国もありますが、英国とデンマークからの入国はまだ許可されています。

ノルウェーでは、地元のエネルギー企業である Scatec 社が開催したホリデーパーティーで 100 件以上のコヴィドが発生し、そのうち 12 件以上が新種であることが確認されたことから、オミクロン型の感染が初めて確認されました。

新種が発見される前の 11 月中旬に南アフリカのケープタウンに渡航した。

パーティーでは、「患者ゼロ」と呼ばれる一人の人物が感染の中心であると考えられており、すべての症例が彼に関連していると考えられています。

パーティーの後、会社の従業員が会場のレストランで他の人たちと交流し、イベントに参加していない 50 人以上の人たちがウイルスに感染したと考えられます。

その後、国内の患者数は急増し、水曜日には 1 日あたり 4,856 人という過去最高の記録を達成しました。

ジョナス・ガー・ストーレ首相は、ウイルス対策として、バーでのアルコール提供の禁止、ジムやプールの閉鎖など、国を部分的にロックダウンすることを発表しました。

しかし、ケープタウンに関連した人々の中には、ウイルスによる重篤な合併症を患った人はおらず、死亡者や入院者も出ていないということは、有望な兆候と言えるでしょう。

このウイルスが最初に検出された南アフリカでは、今週、1 日あたり 21,000 件以上の Covid 感染者が発生し、新記録を達成しました。

全国的に見ても、Covid のために入院した人の数は、先週の 562 人から 5,900 人以上へと、この 4 週間で 10 倍に増加しています。

この国の関係者によると、オミクロンの症例は比較的軽いとのことですが、コヴィドに悩まされている国では、多くの人々が追加のケアを必要とするほど深刻な症例に苦しんでいます。